
2019 (R1) 年度事業報告

自 2019年5月 1日
至 2020年4月30日

一 概要報告

- 1 はじめに 2
- 2 第4期（2018～2021）中期重点テーマへの取り組みの進捗 2

二 各部事業報告

- 1 研修事業 4
- 2 啓発・情報提供事業 11
- 3 調査研究・提言事業 13
- 4 相談・助言事業 18
- 5 人材交流・ネットワーク促進事業 24
- 6 市民活動団体等事務局支援事業 26

三 組織管理運営及び会議の開催

- 1 組織管理運営 28
- 2 機関・会議運営について 29

— 概要報告

1 はじめに

2019年度は、本法人の理念「よい社会は市民がつくる」を実現する上での4つの柱立てを整理し、昨年度設定した中期重点計画（2018～2021年）の2年目にあたりました。特定非営利活動に関して、新たな事業構想に具体的に取り組む一年でした。

以下、各テーマを踏まえて、進行状況を確認し、2019年度の活動状況を振り返ります。

また、新型コロナウイルス感染症によるNPO活動への影響に関して、緊急調査や提言活動に取り組みました。2019年度の当初計画において「市民公益活動は、社会の変化の写し鏡」と表現しましたが、社会の様々な活動が中止・変更を迫られる中、市民活動のあり方を模索し、その支援や活動も変化することも含め、変革の時を迎えた年度末となりました。

2 第4期(2018～2021)中期重点テーマへの取り組みの進捗

【1】「市民公益活動の持続可能なマネジメント」「NPO活動の意義や価値の発信」の支援

- ・「社会的インパクト評価」手法を活用した取り組みの継続として、愛知県「社会的インパクト評価実践事業」及び名古屋市「社会課題解決力向上支援事業業務」を実施しました。組織の見直しや助成金申請事業につなげるなど、団体の状況に合わせた実践・改善に結びつけるコーディネートを行いました。
- ・「東海ろうきん愛未来応援寄付金」を通して「子どもの健全育成」と「就労支援」を行う団体を対象とした寄付金の募集を行いました。寄付金という設計ならではの団体支援のあり方を引き続き探求していきます。
- ・「NPO承継センター」「個別NPOへの事務局支援業務」は単発の相談として対応しました。継続的な支援には結果的に至らなかったのは、相談者の課題が整理されていたこと、専門人材の力を活かす資金確保ができなかったこと等の理由によるものです。

【2】地域密着型の中間支援組織と連携した「草の根の市民活動の活性化」

- ・愛知県内の支援センター交流会やNPOと行政の協働のための実務者会議への参画等、地域密着型の中間支援組織に重要となるテーマ（地域の主体との関係づくり、中間支援組織の強化）について協議・共有しました。
- ・市民活動センターの運営にも携わる中間支援NPOの3年間の人材育成講座が終了しました。また、県域で実施する相談事業を各地の支援センターと協働で取り組みました。
- ・「公共施設の再編」に関して勉強会の実施を検討しましたが、事業化の見通しが立たないこと、組織内の体制を確立できないことから、見送る結果となりました。今後も関係者と議論を重ねて、ニーズを把握し、時機を探っていきます。

【3】地縁力を再生し、新しい地域経営のあり方を築く「地域力コーディネート」

- ・「BCP（Business Continuity Plan／災害時の事業継続計画）」をテーマに、福祉NPOでの普及に向けて、地域福祉サポートちたと共に取り組み、「基本ガイドブック」作成等、現場で普及していくための土台づくりを行いました。

- 「地縁型団体・活動」の課題に対しては、具体的な事業は実施できていませんが、「コミュニティサポーター」をテーマにした勉強会の形で、中間支援組織の関係者と情報交流に取り組みました。

【4】市民公益活動に関わる経験・情報を、資源化してつなげる「情報循環」

- 「新型コロナウイルス感染症によるNPO活動への影響調査」により、団体運営及び、子ども・高齢者・障がい者など活動の対象者の両面で深刻な影響が生じていることが明らかとなりました。調査を元に検討を行い、協働取組みや提言につなげます。
- これまで行ってきた事業による知見、NPO・まちづくりの理解・参加のための情報や全国の動向などの情報を収集し、スマートフォンやタブレット端末から閲覧がしやすいウェブサイトへ改修し、情報発信のしくみを再編しました。
- 「Microsoft Teams」を活用し、オンライン会議やチャット機能、ファイル共有など組織内のコミュニケーションを適時に図りました。またオンライン会議の手法を用いて、全国の動向を踏まえたセミナーを同時配信するサテライトセミナーを開催し、学びあいの機会を提供しました。

二 各部報告

ボランティアネイバーズ（VNS）は、定款に基づく「研修」「啓発・情報提供」「調査研究・提言」「相談・助言」「人材交流・ネットワーク促進」「事務局支援」の6つの事業分野を持ちます。個別の事業は、この6つの要素を複合的に持っていますが、主要要素・ねらいによって分類しています。

以下、各部の報告をします。

1 研修事業

- 昨年度と同様に、市民や市民団体向けの活動促進の講座、行政と市民団体の協働コーディネート、行政職員への市民協働研修、NPO運営の評価や自立運営をテーマとした研修を行いました。特に、NPO評価や自立運営については市民団体や行政の関心の高まりが感じられました。【テーマ①市民公益活動の持続的なマネジメント】
- 市民活動センターの運営にも携わる中間支援NPOの人材育成講座に3年スパンで取り組み、「NPO活動の役割や価値を明確にする力」「チームとして事業を回す力」を育むことができました。団体の事業継承にもつながる意味深い研修事業となりました。【テーマ②草の根の市民活動の活性化】
- 年度末になって発生した新型コロナ対策による自粛要請により、様々なNPO活動や市民の交流や話し合いの場が中断しています。いずれ収束したのちにNPO活動や地域コミュニティ活動にどんな影響があるのか想像すらできない状況ですが、この難局を経験したからこそ、何に備え、何が大切なのかを改めて問い直す機会が増えると思われれます。そうしたテーマに取り組む研修事業も、今後模索していきたいと考えています。【テーマ④経験情報を資源化してつなげる「情報循環」】

事業名	実施形態・備考		頁数
NPO・まちづくり講師派遣	自主事業	行政・民間に派遣	5
インターン受け入れ	自主事業	愛知県・名古屋市・一宮市市民活動支援センターより依頼	5
刈谷市共存・協働のまちづくり推進支援業務 ・「つなぎの学び舎・基礎編」支援業務 ・職員研修「共存・協働のまちづくり講座」 ・委員会運営、「しゃべり場」運営支援 ・「協働のまつり場」運営支援	委託事業	刈谷市	6
清須市協働テラス運営支援	委託事業	清須市	8
岡崎市職員研修委託業務	委託事業	岡崎市	8
あいネット人材育成講座	委託事業	(特)あいちNPO市民ネットワークセンター	9
NPO/NGOの組織基盤強化のためのワークショップ	委託事業	パナソニック株式会社 (認特)日本NPOセンター	9
非営利組織のための「グッドガバナンス認証」制度説明会	委託事業	(一財)非営利組織評価センター	10

1-1 研修／自主事業

事業名	実施時期	実施場所	事業規模（円）																																																
NPO・まちづくり講師派遣	通年	県内市町村	420,140																																																
	実施形態	自治体・団体より依頼。委託事業を含む。																																																	
<p>【目的・ねらい】 市民団体・行政・企業等が行うまちづくりイベント等のコーディネート、企画運営に関する助言や講師等の紹介及び派遣を行うこと。</p> <p>【事業内容】 A: 公的機関及び外郭団体…計6件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>講師派遣先／講義テーマ</th> <th>日時</th> <th>派遣者名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)</td> <td>一宮市市民活動支援センター アドバイザー 1%支援制度集中相談</td> <td>4月～3月 (第4土曜他)</td> <td>中尾さゆり</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>尾張旭市市民活動支援センター／市民活動・NPO相談</td> <td>7月～3月・4日間</td> <td>水野真由美 中尾さゆり</td> </tr> <tr> <td>(3)</td> <td>清須市／市民協働職員研修</td> <td>10/10(木) (2回)</td> <td>三島知斗世</td> </tr> <tr> <td>(4)</td> <td>長久手市／市民活動相談会</td> <td>10/11(金) 10/23(水)</td> <td>水野真由美 齋藤雅治さん</td> </tr> <tr> <td>(5)</td> <td>愛知県／NPOマネジメントスクール「税務」「事業承継・解散」</td> <td>10/28(月),11/19(火), 12/6(金)</td> <td>中尾さゆり</td> </tr> <tr> <td>(6)</td> <td>愛知県／休眠預金キックオフミーティング・ファシリテーター</td> <td>2/14(金)</td> <td>中尾さゆり</td> </tr> </tbody> </table> <p>B: 民間団体…計4件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>講師派遣先／講義テーマ</th> <th>日時</th> <th>派遣者名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)</td> <td>(社福)名古屋市社会福祉協議会／地域の支えあい活動者養成 実践講座「助成金の活用と会計を学ぶ」</td> <td>10/31(木)</td> <td>中尾さゆり</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>名城大学／都市情報学部公開講座「NPOとまちづくり」</td> <td>11/2(土)</td> <td>大西光夫</td> </tr> <tr> <td>(3)</td> <td>(特)中部プロボノセンター／第7期プロボノメンバー育成研修 「NPOの基本 社会的役割と現状」</td> <td>1/11(土)</td> <td>三島知斗世</td> </tr> <tr> <td>(4)</td> <td>北海道立総合研究機構／視察受入「NPO支援組織調査」</td> <td>1/15(水)</td> <td>中尾さゆり</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルスの影響により、予定された6件が中止となった。</p>					講師派遣先／講義テーマ	日時	派遣者名	(1)	一宮市市民活動支援センター アドバイザー 1%支援制度集中相談	4月～3月 (第4土曜他)	中尾さゆり	(2)	尾張旭市市民活動支援センター／市民活動・NPO相談	7月～3月・4日間	水野真由美 中尾さゆり	(3)	清須市／市民協働職員研修	10/10(木) (2回)	三島知斗世	(4)	長久手市／市民活動相談会	10/11(金) 10/23(水)	水野真由美 齋藤雅治さん	(5)	愛知県／NPOマネジメントスクール「税務」「事業承継・解散」	10/28(月),11/19(火), 12/6(金)	中尾さゆり	(6)	愛知県／休眠預金キックオフミーティング・ファシリテーター	2/14(金)	中尾さゆり		講師派遣先／講義テーマ	日時	派遣者名	(1)	(社福)名古屋市社会福祉協議会／地域の支えあい活動者養成 実践講座「助成金の活用と会計を学ぶ」	10/31(木)	中尾さゆり	(2)	名城大学／都市情報学部公開講座「NPOとまちづくり」	11/2(土)	大西光夫	(3)	(特)中部プロボノセンター／第7期プロボノメンバー育成研修 「NPOの基本 社会的役割と現状」	1/11(土)	三島知斗世	(4)	北海道立総合研究機構／視察受入「NPO支援組織調査」	1/15(水)	中尾さゆり
	講師派遣先／講義テーマ	日時	派遣者名																																																
(1)	一宮市市民活動支援センター アドバイザー 1%支援制度集中相談	4月～3月 (第4土曜他)	中尾さゆり																																																
(2)	尾張旭市市民活動支援センター／市民活動・NPO相談	7月～3月・4日間	水野真由美 中尾さゆり																																																
(3)	清須市／市民協働職員研修	10/10(木) (2回)	三島知斗世																																																
(4)	長久手市／市民活動相談会	10/11(金) 10/23(水)	水野真由美 齋藤雅治さん																																																
(5)	愛知県／NPOマネジメントスクール「税務」「事業承継・解散」	10/28(月),11/19(火), 12/6(金)	中尾さゆり																																																
(6)	愛知県／休眠預金キックオフミーティング・ファシリテーター	2/14(金)	中尾さゆり																																																
	講師派遣先／講義テーマ	日時	派遣者名																																																
(1)	(社福)名古屋市社会福祉協議会／地域の支えあい活動者養成 実践講座「助成金の活用と会計を学ぶ」	10/31(木)	中尾さゆり																																																
(2)	名城大学／都市情報学部公開講座「NPOとまちづくり」	11/2(土)	大西光夫																																																
(3)	(特)中部プロボノセンター／第7期プロボノメンバー育成研修 「NPOの基本 社会的役割と現状」	1/11(土)	三島知斗世																																																
(4)	北海道立総合研究機構／視察受入「NPO支援組織調査」	1/15(水)	中尾さゆり																																																
事業名	実施時期	実施場所	事業規模（円）																																																
インターン受け入れ	7月～2月	本法人事務所他	0																																																
	実施形態	自主事業																																																	
<p>【目的・ねらい】 本法人の業務体験や研修・相談等の機会を通して、愛知県内の自治体とNPOとの相互理解を深め、協働のまちづくりを促進すること。</p> <p>【事業内容】 愛知県現場体験型研修（採用2年目職員）20名、名古屋市NPO派遣研修1名、一宮市市民活動支援センター職員1名を受け入れ、講座や研修会の運営、ブログレポーター等の業務を担当していただいた。</p> <p>【総括・評価】 「課題を抱えた人・地域とその解決に取り組む意志・能力のある人・団体とをつなぐ役割は行政に期待される」等の感想が聞かれ、地域課題を知ること、協働で取り組むことの理解につなげることができた。</p>																																																			


1 研修事業

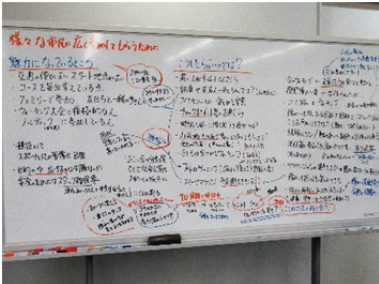
1-2 研修／受託契約事業(公共部門)

事業名	実施時期	実施場所	事業規模(円)																																
刈谷市 共存・協働のまちづくり推進支援業務 「つなぎの学び舎・基礎編」	5月～3月	刈谷市民ボランティア活動センター他	4事業で 6,098,092																																
	委託団体	刈谷市(市民協働課)																																	
<p>【目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「つなぎの学び舎」 共存・協働のまちづくり促進のため、各主体の参加や連携を促進する、まちづくりコーディネーター“つなぎびと”を市民の中で育むこと。 ●「まちコ交流会」 まちづくりコーディネーター(まちコ)同士が情報・経験を共有すると共に、心得やスキルを学び、地域のニーズに応えられる力をつけていくこと。 <p>【事業内容】 ※全体ファシリテーター：藤森幹人(VNS/まちづくりコンサルタント)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">つなぎの学び舎・第五期 実践編 回数 / 月日 / テーマ・講師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>7/6(土)</td> <td>つまちづくりの夢を語ろう / 米田正寛さん、山田昌代さん、畑 和子さん</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>8/20(火)</td> <td>地域活動における話し合いとコーディネート / 名畑 恵さん</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>9/8(日)</td> <td>つながり方の技術を学ぶ②「魅力的な企画をすすめる力」 / 池田哲也さん</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/17(木)</td> <td>まちづくり現場を訪問して学ぶ「地域活動とNPO・ボランティア活動」 / 刈谷市国際交流協会日本語支援グループ、小垣江自治会</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/14(木)</td> <td>つながり方の技術を学ぶ③「情報を相手の心に届ける力」 / 織田元樹さん</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>12/14(土)</td> <td>私がめざす「つなぎびと」宣言!</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">まちコ交流会 回数 / 月日 / テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9/8(日)</td> <td>「プロジェクト・マネジメントについて学ぼう」 / 大野裕史さん(愛知ネット)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2/23(日)</td> <td>「盛り上げよう! 伝えよう! ポッチャの楽しさ まちコから(まちコ有志)」</td> </tr> </tbody> </table>				つなぎの学び舎・第五期 実践編 回数 / 月日 / テーマ・講師				1	7/6(土)	つまちづくりの夢を語ろう / 米田正寛さん、山田昌代さん、畑 和子さん	2	8/20(火)	地域活動における話し合いとコーディネート / 名畑 恵さん	3	9/8(日)	つながり方の技術を学ぶ②「魅力的な企画をすすめる力」 / 池田哲也さん	4	10/17(木)	まちづくり現場を訪問して学ぶ「地域活動とNPO・ボランティア活動」 / 刈谷市国際交流協会日本語支援グループ、小垣江自治会	5	11/14(木)	つながり方の技術を学ぶ③「情報を相手の心に届ける力」 / 織田元樹さん	6	12/14(土)	私がめざす「つなぎびと」宣言!	まちコ交流会 回数 / 月日 / テーマ				1	9/8(日)	「プロジェクト・マネジメントについて学ぼう」 / 大野裕史さん(愛知ネット)	2	2/23(日)	「盛り上げよう! 伝えよう! ポッチャの楽しさ まちコから(まちコ有志)」
つなぎの学び舎・第五期 実践編 回数 / 月日 / テーマ・講師																																			
1	7/6(土)	つまちづくりの夢を語ろう / 米田正寛さん、山田昌代さん、畑 和子さん																																	
2	8/20(火)	地域活動における話し合いとコーディネート / 名畑 恵さん																																	
3	9/8(日)	つながり方の技術を学ぶ②「魅力的な企画をすすめる力」 / 池田哲也さん																																	
4	10/17(木)	まちづくり現場を訪問して学ぶ「地域活動とNPO・ボランティア活動」 / 刈谷市国際交流協会日本語支援グループ、小垣江自治会																																	
5	11/14(木)	つながり方の技術を学ぶ③「情報を相手の心に届ける力」 / 織田元樹さん																																	
6	12/14(土)	私がめざす「つなぎびと」宣言!																																	
まちコ交流会 回数 / 月日 / テーマ																																			
1	9/8(日)	「プロジェクト・マネジメントについて学ぼう」 / 大野裕史さん(愛知ネット)																																	
2	2/23(日)	「盛り上げよう! 伝えよう! ポッチャの楽しさ まちコから(まちコ有志)」																																	
<p>【総括・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5期つなぎの学び舎基礎編は、11名の受講申込で定員を下回ったが、出席率は85%と高く、修了要件に基づき10名が修了した。 ・まちコ交流会では、1回目は、イベントのプロジェクト・マネジメントを学び、2回目は、1回目の学びを踏まえてポッチャを題材に交流会の企画準備プロセスを実践的に学ぶことができた。 																																			



事業名	実施時期	実施場所	事業規模(円)									
刈谷市 共存・協働のまちづくり推進支援業務 行政職員研修「共存・協働のまちづくり講座」	5月～3月	刈谷市役所	4事業で、6,098,092円									
	委託団体	刈谷市(市民協働課)										
<p>【目的・ねらい】</p> <p>市職員が共存・協働のまちづくりを推進していく上で市職員に期待される考え方や姿勢、及び、市民との関係を育む手法について習得すること。</p> <p>【事業内容】 ※ファシリテーター：藤森幹人(VNS)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日時</th> <th>参加者数</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8/7(水)</td> <td>新任係長 28名</td> <td>レクチャー及び、市民と市役所の協働コーディネート演習「災害弱者に配慮した地域防災訓練を企画する」</td> </tr> <tr> <td>12/26(木)</td> <td>入庁3年目職員 25名</td> <td>基本講義、グループワーク「共存・協働のまちづくりの取り組み方と、私たち(市職員)の役割」～カードゲーム形式～</td> </tr> </tbody> </table> <p>【総括・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入庁3年目若手職員の研修では、若い世代の関心を高めるため、既製の地域づくりコーディネイトゲームを刈谷市用にアレンジして活用した。その結果、ゲーム形式のワークに受講者の違和感はみられず、概ね好評だった。今後、ゲームの視点の研修プログラムも積極的に検討していきたい。 				日時	参加者数	内容	8/7(水)	新任係長 28名	レクチャー及び、市民と市役所の協働コーディネート演習「災害弱者に配慮した地域防災訓練を企画する」	12/26(木)	入庁3年目職員 25名	基本講義、グループワーク「共存・協働のまちづくりの取り組み方と、私たち(市職員)の役割」～カードゲーム形式～
日時	参加者数	内容										
8/7(水)	新任係長 28名	レクチャー及び、市民と市役所の協働コーディネート演習「災害弱者に配慮した地域防災訓練を企画する」										
12/26(木)	入庁3年目職員 25名	基本講義、グループワーク「共存・協働のまちづくりの取り組み方と、私たち(市職員)の役割」～カードゲーム形式～										

事業名	実施時期	実施場所	事業規模(円)
刈谷市 共存・協働のまちづくり推進支援業務 委員会運営、しゃべり場運営支援	5月～3月	刈谷市役所	4事業で、6,098,092
	委託団体	刈谷市(市民協働課)	
<p>【目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●委員会運営支援 「刈谷市 共存・協働のまちづくり推進基本方針」の推進に向けて、さまざまな主体が協議し、主要な取り組みを生み出していくための支援を行うこと。 ●しゃべり場運営支援 市民が刈谷のまちを「自分ごと」として捉え行動する一歩として語り合うための場を市民主体で運営すること。 			
			
①共存・協働のまちづくり推進委員会の運営支援	<p>○15名の委員＝昇秀樹(名城大学教授)委員長</p> <p>○全体会議3回、夢ファンド部会を3回、コーディネーター部会2回を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夢ファンド部会では、市制施行70周年を記念して実施されるコラボ70補助金(16件の申請と採択)／まちづくり活動支援事業補助金(2件の申請と採択)の募集と審査会運営、及び来年度に向けた補助メニューについて検討した。 ・コーディネーター部会では、まちづくりコーディネーターの活性化に向けて昨年度検討したことの実践状況の把握、及び、次年度の「つなぎの学び舎・実践編」のプログラム改編について検討した。 		
②わがまちのしゃべり場運営支援	<p>○「わがまちのしゃべり場12 ～ボクらのチカラが刈谷を元気に!」と題し、若い人が活動している3つのグループをゲストにお呼びして開催「ストコラ(Street Collaboration Live in Kariya)」 「かりやマーブルタウン実行委員会」 「刈谷市消防団員」の活動紹介の後、テーブルに分かれて和やかに語りあった。</p> <p>●2/2(日) ●参加者37名。</p>		
<p>【総括・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちコ活性化の取り組み及び、ファンド周知の促進として今年度から実施された「ファンドレポート活動」については、2つの部会をまたがる形で成果や課題が検討された。 ・今年度は比較的若い世代の参加を増やすため、若い世代が取り組む3つの市民活動をゲストに迎え開催した。結果、全体の参加者は増えなかったがゲスト関係の若い世代が少し増えて世代間の交流ができた。 			

事業名	実施時期	実施場所	事業規模(円)
刈谷市協働のまつり場運営支援	10月～2月	刈谷市役所	4事業で、6,098,092
	委託団体	刈谷市(市民協働課)	
<p>【目的・ねらい】</p> <p>市民(NPO・地域団体等含む)と行政の実務者が意見交換を行うことで、課題認識や目指す目的の共有を図り、協働のあり方を展望すること。</p>			
<p>【事業内容】</p> <p>今年度は刈谷市制70周年記念事業23事業の中から「市民協働診断シート」で協働の状況を把握した後、9事業のヒアリングを経て、対象事業を選定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●対象事業・担当課 刈谷GOGOウォーキング大会(スポーツ課) ●テーマ：様々な市民に広く参加してもらうためには ●実施日：12/23(月)、2/10(月)。 ●ファシリテーター：藤森幹人(VNS) 			
<p>【総括・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキング実行委員会のスポーツ推進委員をはじめ、会場候補の民間企業、障がい者の参加促進のため福祉NPOが参加し、行政側はスポーツ課のほか公園緑地課、福祉総務課、社会福祉協議会といった多様な関係者が参加し話し合った。例年より短いコースの新設や、ニュースポーツ体験、企業ボランティアへ呼びかけなどの方策が提案され、実現にむけて実行委員会で検討することになった。 			
			

1 研修事業

事業名	実施時期	実施場所	事業規模（円）
清須市協働テラス運営支援	10月～2月	清州市民センター	2事業で321,750
	委託団体	清須市（企画政策課）	
<p>【目的・ねらい】 様々なまちづくり主体が情報共有や関係を構築できる場を創出することで、団体間連携、市民の参画促進、事業マッチングを推進すること。</p> <p>【事業内容】 前年度からの様々な取り組みの一環で「協働テラス」という協働促進の交流の場を設けることになり、その企画運営を実施した。協働テラスの企画運営自体を市民団体との協働で行うことを提案し、ワールドカフェ形式による意見交換の場を2/1に開催した。そこでさらに、協働テラス運営検討会の参加団体を募り、次年度の協働テラスの運営方法を一緒に検討する予定だった。</p> <p>●実施日：2/1（土） ●参加者：36人 ●ファシリテーター：藤森幹人</p> <p>【総括・評価】 ・2/1（土）の協働テラスは市担当課の積極的な呼びかけもあって、リラックスした雰囲気の中主体的な意見交換ができ概ね好評であった。一方、次年度の企画運営を考える検討会の開催は、日程も参加者も決まっていたが、新型コロナの影響で次年度へ持ち越しとなった。</p>			



事業名	実施時期	実施場所	事業規模（円）
岡崎市職員研修委託業務	10月～2月	岡崎市役所	262,785
	委託団体	岡崎市（市民協働推進課）	
<p>【目的・ねらい】 市民協働に関する職員の知識を高め、意識を醸成すると共に、市民協働の取組の課題への対応策を学ぶことを通して、岡崎市における市民協働の推進を図ること。</p> <p>【事業内容】 日常業務的な事業でも、声をかけて誰かと一緒に取り組めば「協働」になるという視点の元、幸田町総務部防災安全課の横田隆之さんの事例報告から、法令と人、人と人、人と生活を結ぶコーディネーターとしての仕事のあり方を学んだ。また、市民が積極的に関わりたくなるような協働について、「災害時避難所運営マニュアル」題材にグループワークで考えた。</p> <p>●実施日：1/17（金） ●参加者：実務担当職員40名 ●講師：三島知斗世 ●ファシリテーター：水野真由美さん（VNS、Nagoyaコミュニティ研究所）</p> <p>【総括・評価】 ・市民協働の有効性は高い理解が得られた（95%）。他方、市民協働に関わる事業に直接携わった経験はないが、市民協働は当たり前と感じる職員も多くなり、事業に協働を取り入れるプロセスなど一歩進んで内容が必要になってきている。時間バランスも考えてプログラムを対応することが求められている。</p>			



1-3 研修／受託契約事業(民間部門)

事業名	実施時期	実施場所	事業規模(円)
あいネット人材育成講座 「市民活動支援力UP研修」	5月～3月	みよし市市民活動サ ポートセンター	575,575
	委託団体	(特)あいちNPO市民ネットワークセンター	

【目的・ねらい】

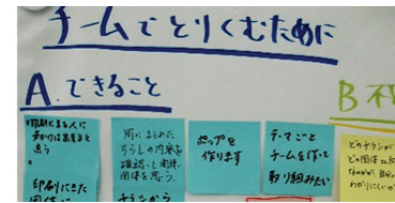
同法人スタッフとして、やりたいと思う事業の目的と成果を考えてよりよい事業にする力を高めると共に、話し合い、実行し、振り返る実践を通してチームとして自走していくこと。

【事業内容】

※全体ナビゲーター：中尾さゆり、三島知斗世



	日時	タイトル
1	5/23(木)	事業目的を考えてセンター交流会を運営する
2	7/18(木)	組織事務局と事業事務局
3	9/19(木)	中間報告書を作ってみよう
4	11/7(木)	チームとして事業をマネジメントする
5	1/23(木)	災害時における事業について考えてみよう
6	3/26(木)	学びを生かす、自走するチームになる



【総括・評価】

- ・サポートセンター食育交流会、情報発信事業、介護相談員事業について、「成果」をまず考え、成果に向けた準備や改善を話し合い、実践し、それを振り返るといった研修を重ねた。実践とセットになった3年間の研修の結果、事業について「なぜやるのか」「今後どうしたいのか」前向きに話し合い、自分の力をチームの中で活かしていく、スタッフ及び組織としての成長が確実に進んだ。

事業名	実施時期	実施場所	事業規模(円)
NPO/NGOの組織基盤強化 のためのワークショップ	5～3月	名古屋市市民活動推進 センター	198,000
	委託団体	パナソニック株式会社・(認特)日本NPOセ ンター／(認特)名古屋NGOセンターと共催	

【目的・ねらい】

NPOが持続的に発展し活動を行う上で基礎となる「組織基盤強化」の必要性を周知・啓発すること。

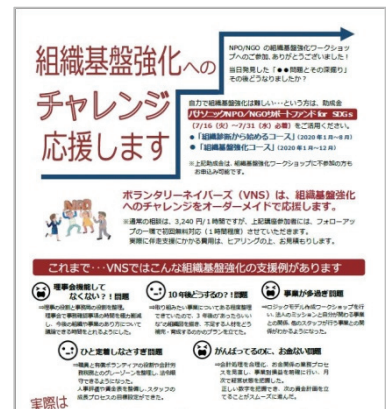
【事業内容】

「組織基盤の強化」について理解を深めるとともに、事例を基に組織の課題を深掘りするグループワークを通して、課題の原因を追究する手法を学んだ。

- 実施日：5/31(金)14:00～17:30 ●参加者：25名
- 講師：吉田建治さん（(認特)日本NPOセンター事務局長）、東郷琴子さん（パナソニック株式会社）
- 事例紹介：井上広之さん（(認特)ソルトパヤタス事務局長）

【総括・評価】

- ・共催により、参加者の活動分野に広がり生まれた。ワークショップではグループファシリターの進行により適時にフォローし、参加者の協力的な参加によりスムーズに進行できた。後日、参加者を対象としたフォローアップとして、「パナソニックNPO/NGO サポートファンド forSDGs」助成の申請相談を実施。1団体が利用し、申請につなげることができた。



1 研修事業

事業名	実施時期	実施場所	事業規模（円）
非営利組織のための 「グッドガバナンス認証」 普及業務	5月～2月	名古屋市市民活動推進 センター他	132,000
	委託団体	（一財）非営利組織評価センター	

【目的・ねらい】

NPO法人等の信頼性と透明性の向上を図り、充実した支援環境の構築に寄与すること目的とした第三者認証事業制度を理解すると共に、活動団体においては適正な組織運営にむけた課題を把握すること。



【事業内容】

1) 説明会

第三者評価の実践から見出された組織体制のポイントの解説、評価制度の概要と評価基準について説明するとともに、評価を実践した2法人から申請の経緯や合意形成、取得後の効果について紹介した。

- 実施日：9/8（日）9:15～12:15 ●参加者：21名
- 講師：山田泰久さん〔（一財）非営利組織評価センター業務執行理事〕
- 事例講師：〔2018年ベーシック評価実践団体〕
（特）西三河在宅介護センター山田稔さん、（特）ぎふハチドリ基金 山田朋子さん

2) ベーシック評価申請併走支援

弁護士、行政書士、税理士による“併走支援チーム”を組織し、2法人のベーシック評価申請において、提出書類の確認、不足資料の準備・補足を行った。申請後、評価結果シートを基に、文書管理規定の策定等の改善支援を行った。また、実践を通じて得た知見や支援の過程で検討を重ねたポイントをまとめ、サポートノウハウ集を作成し、支援プロセスの定型化を図ると共に、申請をきっかけとした支援のあり方をまとめた。

【総括・評価】

- 健全な組織運営について理解し、団体が組織改善に取り組むきっかけを提供することができた。併走支援では、評価基準の判断基準において、対応の難しさがあった。チーム内で打合せを重ね支援の方向性を確認しながら進めることができ、支援体制を充実することができた。
（評価申請：2法人（説明会参加者））
- 本法人は12/17にベーシック評価基準をすべて満たしている旨、評価をいただいた。

2 啓発・情報提供事業

- NPO・まちづくりの理解・参加のための情報、先進事例やNPOの全国的動向などの情報を提供・共有することを目的としています。
- NPOや企業、行政等から提供される書籍、パンフレット等を「ライブラリー」として蓄積しています。
- E-Mailなどで送られてくるNPOに関連する「情報」をホームページやE-Mail、SNSで発信しています。こうしたツールを用いてVNSの活動のほか、1990年代からの愛知の市民活動やNPO法づくりに関する国会審議録も掲載、休眠預金活用制度等の動きも紹介しています。また、ICTの深化、インターネット環境の変化に対応した情報ツール・システムの開発の一環として、VNSのホームページのリニューアルに取り組んでいます。【テーマ④：経験・情報を資源化してつながる「情報循環」】
- 市民社会に関わる共通のテーマに関心のある参加者が集まり、意見交換し相互に学習する機会を新たに設け、ウェブ会議の仕組みも活用しながらリアルな情報交流にも取り組んでいます。【テーマ②草の根の市民活動の活性化】

事業名	実施形態・備考		頁数
情報発信事業／ウェブサイト改修	自主事業		12
ライブラリー事業	自主事業		12
テーマ持ち寄り型学習「ドデスカ勉強会」	自主事業		13
あいちNPO交流プラザポータルサイトメンテナンス	委託事業（公共）	愛知県	13

2-1 啓発・情報提供／自主事業

事業名	実施時期	実施場所	事業規模（円）
情報提供発信事業／ウェブサイト改修	通年	本法人事務所	0
	実施形態	自主事業	
<p>【目的・概要】 市民活動・まちづくりに関する理解、参加促進、運営力向上のため、有益な情報を提供すること。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イベント・研修情報、市民参加の促進、行政との協働、助成金情報などを、ホームページやブログ、SNSに掲載、E-Mail発信、ダイレクトメール送付等を実施している。 ・ インターネット環境の変化に対応するためスマートフォンやタブレット、SNSに最適化したホームページへのリニューアルに取り組んだ。2020年度上半期の公開を予定。 ・ 2019年度のホームページのアクセス件数（5万）、Facebookページ（540いいね）、Twitter（238フォロワー）。イベント・研修情報の発信、日常の活動の様子の紹介、ユーザーとの交流に取り組んだ。 <p>【総括・評価】 NPO・まちづくりの理解・参加のための情報、先進事例やNPOの全国的動向などの情報を収集し、ホームページ等で適切なタイミングで情報発信をおこなうことができた。ホームページのリニューアルは、インターネットの閲覧環境の変化に対応するため、スマートフォンやタブレット端末から閲覧しやすい「レスポンスサイト」として作成をすすめた。SNSを通じて積極的な発信を行うことで、前年度以上のフォロワーを獲得した。</p>			



2 啓発・情報提供事業

事業名	実施時期	実施場所	事業規模（円）
ライブラリー事業	通年	本法人事務所	0
	実施形態	自主事業	

【目的・概要】
市民活動・まちづくり活動の理解・啓発を図るため、書籍の購入や各種団体・機関から送られてくる冊子やパンフレット、贈呈図書などを収集・整理し、貸出などを行う。

【事業内容】
「NPO・市民活動のための助成金ガイド」（(公財)助成財団センター）、「NPO法人会計力検定」（NPO会計支援センター）等を入手した。

事業名	実施時期	実施場所	事業規模（円）
テーマ持ち寄り型学習 「ドデスカ勉強会」	通年	本法人事務所	18,500
	実施形態	自主事業	

【目的・概要】
市民活動・まちづくり活動に携わる主に中間支援組織・行政職員が主体となり、関心や問題意識のあるテーマを持ち寄り、情報交換や議論を通して学びの機会を提供する。

【事業内容】

- 6/26 (水)「学会からみたNPO」8/29 (木)「名古屋市コミュニティサポーター」11/19 (火)「行政の審議会」2/19 (水)「プログラムオフィサー」4/17 (金)「コロナ対策による契約変更」等をテーマに開催した。
- 番外編として、12/13 (金)「社会的インパクト時代のマネジメント」（(特)NPOサポートセンター主催)オンラインセミナーを開催した。

【総括・評価】
感染症拡大防止による契約変更や中止は、今後課題が深刻化することが予測され、継続して取り組む。オンラインセミナーでは、配信を受講しながら、ワークの時間に解説と質疑を交えて進行したことで、学びを深めることができた。オンラインでの開催経験を活かして、主催事業を展開することができた。

2-2 啓発・情報提供／受託契約事業（公共部門）

事業名	実施時期	実施場所	事業規模（円）
あいちNPO交流プラザ ポータルサイトメンテナンス	4月～3月	本法人事務所等	327,000
	委託団体	愛知県（社会活動推進課）	

【目的・事業内容】

- 愛知県社会活動推進課NPOグループのWEBサイト「あいちNPO交流プラザ」の管理運営をサポートする業務で、VNSは2008年にサイトを構築して以降業務を行っている。
- 県民及びNPO等関係者にわかりやすく情報提供できるように定期的なメンテナンスを行う他、システムのトラブル対応や不必要になったファイルやリンクの削除・修正などを行っている。
- WEBサイトは、愛知県（社会活動推進課）の取り組み、所轄のNPO法人等に関する情報の掲載、企業などからのNPO法人等への助成や支援情報、県内市町村のNPO施策などが掲載されている。

【総括・評価】
本WEBサイトは、ICTの著しい発展を見据えて、より多くの人に活用されるサイトとして、見なおし、運営や内容、操作性等を改善していく必要がある。

3 調査研究・提言事業

- 今年度は、委託事業が少なかった分、自主事業による調査研究に積極的に取り組みました。その一つが「BCP（Business Continuity Plan／災害時の事業継続計画）」をテーマに、福祉NPOでの普及に向けて、地域福祉サポートちたと共に取り組んだことです。4月に行った事業開発会議の議論を具体的な事業として展開することができ、「基本ガイドブック」作成や研修の反応から、現場で普及していく土台ができてきました【テーマ③「地域カコーディネート」】
- 二つ目は、新型コロナウイルス感染症によるNPO活動への影響に関して、愛知県内のNPOが直面している課題を緊急調査しました。調査結果から、団体運営及び、子ども・高齢者・障がい者など活動の対象者の両面で深刻な影響が生じていることが明らかになっています。社会の困難に対して市民活動がどんな役割を果たせるのか、そのために必要になる資源やノウハウをどう配分・共有・活用していくとよいのか、この調査を元に検討を行い、協働取り組みや提言につなげていきたいと考えます。【テーマ④：経験・情報を資源化してつなげる「情報循環」】
- 各種委員会活動でも、ポストコロナの市民生活・社会・NPO活動のあり方を踏まえて積極的に発言・参画していく必要を感じています。また、全国の議論も共有しつつ、この地域の中間支援としての役割を果たしていきたいと思えます。

事業名	実施形態・備考		頁数
各種審議会・委員会への参画	自主事業		14
研究レポートの発行	自主事業		15
福祉NPOのためのBCP 普及についての研究	自主事業		16
新感染症にかかわるNPOの影響についての研究と提言	自主事業		16
男女共同参画プラン団体ヒアリング調査	委託事業(公共)	扶桑町	17
地域福祉計画策定・進行管理研修資料作成支援	委託事業(民間)	(特)地域福祉サポートちた	17

3 調査研究・提言事業

3-1 調査研究／自主事業

事業名	実施時期	実施場所	事業規模（円）
各種審議会・委員会への参画	通年	愛知県内各所等	441,390
	実施形態	自治体・団体より依頼に基づく	

【目的・ねらい】

各種審議会・委員会・審査会等への参画を通して、NPOの発展やまちづくり、市民主体の社会づくりに向けて提言や提案を行うこと。

A: 公的機関及び外郭団体…計 36 件

	委員会名等	主催者	委員名
(1)	地域活性化伝道師	内閣府	新海洋子
(2)	あいち自動車環境戦略会議幹事	愛知県	新海洋子
(3)	あいち自動車環境戦略会議運営委員	愛知県	武長脩行
(4)	愛知県自動車排出窒素酸化物及び粒子状物質総量削減計画策定協議会幹事	愛知県	新海洋子
(5)	愛知県自動車排出窒素酸化物及び粒子状物質総量削減計画策定協議会委員	愛知県	武長脩行
(6)	あいちエコモビリティライフ推進協議会企画運営会議委員	愛知県	武長脩行
(7)	「エコモビリティライフ」推進表彰選考委員	愛知県	武長脩行
(8)	愛知県次期行革大綱策定懇談会委員	愛知県	三島知斗世
(9)	NPOと行政の協働に関する実務者会議構成員	愛知県	三島知斗世
(10)	愛知県環境教育等推進協議会委員	愛知県	新海洋子
(11)	三重県国土利用計画審議会委員	三重県	新海洋子
(12)	みえ森と緑の県民税評価委員会委員	三重県	新海洋子
(13)	三重県自然環境保全審議会委員	三重県	新海洋子
(14)	名古屋市福祉有償運送運営協議会委員	名古屋市	大西光夫
(15)	名古屋市指定特定非営利活動法人審査会委員	名古屋市	大西光夫
(16)	名古屋市地域まちづくり活動助成等評価委員会	名古屋市	三島知斗世
(17)	名古屋市特別職報酬等審議会委員	名古屋市	中尾さゆり
(18)	名古屋市市民活動の推進にかかる懇談会構成員	名古屋市	中尾さゆり
(19)	なごやか地域福祉2020 策定懇談会・作業部会委員	名古屋市	遠山涼子
(20)	一宮市市民活動支援制度審査会審査委員	一宮市	三島知斗世
(21)	つしま歴史・文化まちづくり提案事業補助金審査会委員	津島市	三島知斗世
(22)	刈谷市元気な地域応援交付金審査委員	刈谷市	三島知斗世
(23)	豊田市市民活動促進委員会委員／豊田市促進補助金審査会委員	豊田市	三島知斗世
(24)	共働事業提案制度アドバイザー	豊田市	三島知斗世
(25)	安城市市民参加促進評価会議委員	安城市	三島知斗世
(26)	蒲郡市市民企画公募まちづくり事業補助金	蒲郡市	遠山涼子
(27)	犬山市市民活動促進委員会	犬山市	三島知斗世
(28)	小牧市市民活動促進委員会委員、同市民活動助成金審査会委員	小牧市	三島知斗世
(29)	稲沢市公募型補助金審査委員会委員	稲沢市	中尾さゆり
(30)	東海市まちづくり協働推進事業審査会	東海市	三島知斗世

3 調査研究・提言事業


(31)	日進市市民自治活動推進補助金審査委員会審査委員	日進市	中尾さゆり
(32)	日進市公募提案型協働事業審査委員会審査委員	日進市	中尾さゆり
(33)	北名古屋市市民協働推進事業補助金審査委員	北名古屋市	桜井温子
(34)	みよし市がんばる地域応援補助事業審査会委員	みよし市	三島知斗世
(35)	長久手市協働まちづくり活動助成金審査会審査委員	長久手市	中尾さゆり
(36)	長久手市NPO法人設立支援事業助成金審査会審査委員	長久手市	中尾さゆり

B:民間団体…計5件

	委員会名等	主催者	委員名
(1)	東海ろうきんNPO育成助成	(一財)中部圏地域創造ファンド	武長脩行
(2)	小牧市協働診断支援業務アドバイザー	(特)こまき市民活動ネットワーク	三島知斗世
(3)	NPO法人会計基準協議会専門委員	NPO法人会計基準協議会	中尾さゆり
(4)	こくみん共済地域貢献助成事業審査委員会審査委員	全国労働者共済生活協同組合連合会	中尾さゆり
(5)	コープあいち福祉基金運営委員会委員	生活協同組合コープあいち	中尾さゆり
(6)	名古屋市 イーパーツ・リユースPC 寄贈プログラム	(認特)イーパーツ/(特)ボラみみより情報局等	遠山涼子

事業名	実施時期	実施場所	事業規模(円)
研究レポート発行 (ボラネイ☆キャラバン)	通年	本法人事務所	6,000
	実施形態	自主事業	
<p>【目的・ねらい】 各種セミナー、講演会、研究調査等で学んだ内容の要点をレポートとして発行し、情報の共有を図ること。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第28号「福祉NPOのためのBCPづくりの基本」/(一財)ペガサス財団助成事業2019 (特)地域福祉サポートちた「福祉NPOのための防災計画 はじめの一步編」学習会より 第29号「コロナ対策で、契約業務が実施できない・・・場合にどうするか?」/ テーマ持ち寄り型勉強会「ドデスカ勉強会」第12回開催レポート <p>【総括・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> レポートをきっかけに、BCPづくりに関心が寄せられ、策定の勉強会の企画が持ち上がるなど、情報共有により、普及につながる一定の成果が得られた。 			

3 調査研究・提言事業

事業名	実施時期	実施場所	事業規模（円）
福祉NPOのためのBCP普及についての研究	8月～3月	地域福祉サポートちた他	100,000
	実施形態	自主事業	
<p>【目的・ねらい】 南海トラフ巨大地震など大災害への対策として、福祉サービスを必要とする人々の生活を守るために、福祉NPOの事業の優先順位について検討し、事業の継続や復旧を速やかに行う備えをしておくこと。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(特)地域福祉サポートちたの行う「福祉事業所における災害時の事業継続計画（BCP）づくりに向けた共同学習事業（（一財）ペガサス財団助成交付事業）」の企画運営に協力する形で実施した。 <p>●実施日：11/23（日祝） ●参加者：18名 ●講師：鍵屋一氏（（一社）福祉防災コミュニティ協会代表理事） ●事例紹介：NPO法人りんりんのBCP策定の取り組み りんりん理事長：渡邊千恵氏／聞き手：星野広美（VNS） ●ワークショップ：個人ワークと質疑応答</p> <p>【総括・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の高齢者・障がい者の避難の支援者として福祉関係者は第3位と重要であること、危機管理モードを入れるタイミングを決め、BCPに沿って訓練をして見直していく必要があることを学んだ。 ・りんりんで2018年度に策定したBCPを参考にして、「BCP基本ガイドブック」を作成。冊子の該当部分を記載していくことで各福祉NPOによるBCPづくりが進むことが期待される。 			
			 <p>▲当団体の機関紙にて成果を紹介</p>

事業名	実施時期	実施場所	事業規模（円）
新型コロナウイルスにかかわるNPOの影響についての研究と提言	4月	本法人事務所	0円
	実施形態	自主事業	
<p>【目的・ねらい】 新型コロナウイルス感染症により、活動に大きな影響が出ている愛知県内のNPO法人等の課題を調査し、政策提言などを通じて、課題の解決を図ること。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言等を受け、4/20(月)に愛知県知事宛、4/21(火)に名古屋市長宛に県、市独自の緊急経済対策等において、NPO法人をその対象に含めるよう要望する要望書を提出した。 ・愛知県内のNPO及び活動の対象となる人々への新型コロナウイルス感染症の影響を明らかにするため、4/24(金)～5/3(日)に緊急アンケート「新型コロナウイルス感染症による愛知県内のNPOへの影響調査」をおこなった。 <p>【総括・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要望書の提出により、愛知県・市町村新型コロナウイルス感染症対策協力金の対象にNPO法人が含まれることが確認できた。また、県HP掲載の『よくあるご質問』にその旨が明記され、協力金の申請にあたっての疑問点を解消した。 ・緊急調査の回答を210団体から得ることができた。調査結果からは、団体、活動の対象者共に深刻な影響が出ていることがうかがえた。今後、調査結果について、詳しく整理・検討をおこなったうえで「NPOが連帯して取り組むべきこと」や「行政等への要望」をまとめ、公表することを予定している。 			

3-2 調査研究 / 受託契約事業(公共部門)

事業名	実施時期	実施場所	事業規模(円)
男女共同参画プラン団体 ヒアリング調査	5月～3月	VNS事務所/扶桑町役場	242,000
	委託団体	扶桑町(政策調整課)	
<p>【目的・ねらい】 扶桑町男女共同参画プラン(第2期)策定のため、男女共同参画社会に関する町民の意識・行動の実態、ニーズ等を把握し、新たな計画策定に向けた基礎資料とすること。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①子育て中の母親の立場、②中高年及び青年世代の男性、2つのフォーカスグループディスカッションを行い、生の声を聴取してプランづくりの検討材料を提供した。 ①では、母親が社会的な活動をすること、子育てと仕事を持つことへの考え、母親の意見を施策に届けていくことについて、②では、男性が社会的な活動をすること、家事について、ライフワークバランス、男女共同参画という言葉の受け止め方等について様々な意見が出された。 <p>【総括・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度の住民アンケート、地域アンケート、及び、今年度のヒアリング調査等を踏まえて、審議が進み、第2期プランが完成した。「防災への女性参画の促進」「地区役員の男女バランスの均等化への啓発」「ワーク・ライフ・バランスの推進と啓発」など、調査で明らかになった課題が重点目標として取り上げられた。プラン全体としては「差別のない思いやりのあるまち」というソフト面が重視されており、一人ひとりの考えや行動に男女共同参画が浸透し、認め合う関係づくりを実現することが求められる。 			

3-3 調査研究 / 受託契約事業(民間部門)

事業名	実施時期	実施場所	事業規模(円)
地域福祉計画策定・進行管理研修 資料作成支援	7月～11月	本法人事務所	315,871
	委託団体	(特)地域福祉サポートちた	
<p>【目的・内容】 知多半島5市5町の地域福祉計画の内容及び進捗状況を比較・整理作業を行い、地域福祉計画の推進に関わる担当者(行政職員、社協職員)の研修に活用する資料を提供した。</p>			

4 相談・助言事業

- 今年度の相談・助言事業の特徴は、(1)社会的インパクト評価という新たな手法を活用した取り組みの継続(2)新規事業として東海ろうきん「愛未来応援寄付金」、(3)新型コロナウイルス感染症への対応があげられます。
- (1)については、愛知県委託事業における「社会的インパクト評価実践事業」及び名古屋市委託事業における「社会課題解決力向上支援事業業務」で実施しました。愛知県委託事業は前年度の発展形として、名古屋市委託事業は基礎講座、コーディネーター派遣、実践講座と段階を分けて実施しました。いずれも「評価」という切り口から、団体の状況に合わせて組織の見直しや助成金申請事業につなげていくなど、実践・改善に結びつけるようなコーディネートを行いました。【テーマ①市民公益活動の持続可能なマネジメント、テーマ④資源化しつなげる情報循環】
- (2)については、「子どもの健全育成」と「就労支援」を行う団体を対象とした寄付金の募集、選考、ヒアリング、現地視察を行いました。今年度より各団体への「寄付額を少額に」して「寄付件数を増やす」事業設計となりました。社会にNPO向けの多様な助成プログラムがある中で、この設計ならではの団体支援のあり方を引き続き探求していきます。【テーマ①市民公益活動の持続可能なマネジメント、NPO活動の意義や価値の発信】
- (3)については、感染防止・安全確保のために事業の実施を断念せざるを得ない状況が発生しました。委託事業については委託元との連絡調整業務が多く発生しました。自主事業については総会開催や給付金など今までになかった問い合わせに対応したり、通常の対面相談をオンライン相談に切り替えたりなどの対応を行いました。今後、在宅勤務やオンラインでの会議等が普及定着する中で、対応の工夫が求められます。【テーマ①「市民公益活動の持続可能なマネジメント」、テーマ④資源化しつなげる情報循環】
- 重点事業としているNPOの事業承継についての個別コンサルティングの実施はありませんでしたが、講師依頼、行政の単発相談のなかで対応しました。新型コロナの影響により事業や組織の見直しなどを大幅に検討せざるを得ない状況が予想されますので、これまでの団体支援で培った人材ネットワークやノウハウの蓄積を活かして対応していきます。【テーマ①「市民公益活動の持続可能なマネジメント」、テーマ④資源化しつなげる情報循環】

事業名	実施形態・備考		頁数
NPO法人設立・運営相談	自主事業		19
会計スタッフ派遣・事務支援	自主事業		19
NPO会計ソフト普及	自主事業	(ソリマチ株式会社委託販売)	19
社会的インパクト評価実践事業	受託事業（公共）	愛知県	20
社会課題解決力向上支援事業業務委託	受託事業（公共）	名古屋市	21
NPOアドバイザー事業	受託事業（公共）	名古屋市／(特)ボラみみより情報局と共同受託	22
大口町NPO団体事務支援業務	受託事業（公共）	大口町	23
東海ろうきん「愛未来応援寄付金」	受託事業（民間）	東海労働金庫	23

4-1 相談・助言／自主事業

事業名	実施時期	実施場所	事業規模（円）
NPO法人設立・運営相談	通年	本法人事務所	0
	実施形態	自主事業	
<p>【目的・ねらい】 NPO法人設立や市民団体の運営、まちづくりに関する諸問題の解決を支援すること。</p> <p>【事業内容】 電話・FAX・Eメール・来訪などで、計18件の相談に対応した。</p> <p>【総括・評価】 ・事業運営の課題や認定法人の手続き、感染症対策にかかる総会運営について等問い合わせに対応した。旧会計ソフトご利用者や事業への参加をきっかけに、相談を寄せられることが多かった。</p>			

事業名	実施時期	実施場所	事業規模（円）
会計スタッフ派遣・事務支援	通年	本法人事務所	362,295
	実施形態	自主事業	
<p>【目的・ねらい】 NPO法人の事務支援のため、会計データ入力代行等を行い、NPO法人会計基準に沿った適切な会計ができるようにすること。</p> <p>【事業内容】 ・会計ソフト設定、決算支援・帳簿確認・会計ソフト入力内容の確認などについて相談対応を行った。 ・会計データ入力代行1NPO法人、会計相談29件。</p> <p>【総括・評価】 ・対面での会計相談は、昨年比2割強減少したが、フォローアップでのメール相談等は一定ある。相談者との関係ができる中で、NPO法人の組織再編（解散、合併等）の相談への広がりが見られた。 ・新型コロナウイルスへの対応として、対面での会計相談からオンライン相談へ切り替えが始まりつつある。不慣れな部分もあるが、自宅からの参加により団体の複数メンバーが参加でき意志疎通がしやすいこと、画面共有により複数の参加者の理解を確認しながら進めることができるなどのメリットもあるため、今後も導入を拡大したい。 ・従来のソリマチ会計王NPO法人スタイルに加え、クラウド会計のfreee!導入相談も依頼が来つつある。在宅勤務等が進む中でのサポートや対応が必要である。</p>			

事業名	実施時期	実施場所	事業規模（円）
NPO会計ソフト普及	通年	—	243,560
	実施形態	自主事業	
<p>【目的・ねらい】 主にNPO法人を対象に、使用しやすくまた所轄庁への必要書類が作成できる会計ソフトの普及を通して、NPOのアカウントビリティ向上を支援すること。</p> <p>【事業内容】 会計基準改訂版に対応した会計ソフトのPR、販売を行った。（ソリマチ株式会社） ● 販売実績 計9本 会計王NPO法人スタイル 8本、給料王（保守契約含む）1本</p> <p>【総括・評価】 ・販売実績は昨年比約4割減少したものの、保守契約更新のリピーター利用割合が多く、継続した利用はある。ユーザーを対象に、会計相談会や講座、会計力検定の案内を届けることにより、参加や対面支援につながった事例があった。ソフト販売をきっかけとした業務全般への支援体制が必要である。</p>			

4 相談・助言事業

4-2 相談・助言／受託契約事業(公共部門)

事業名	実施時期	実施場所	事業規模(円)
愛知県社会的インパクト 評価実践事業	6月～2月	あいちNPO交流プラザほか	1,457,624
	委託団体	愛知県(社会活動推進課)	

【目的・ねらい】

県内NPOが、休眠預金を始めとする「社会的インパクト評価(NPO活動が社会に与える成果を把握し、評価すること)」を活用した各種助成金を獲得できること。

【事業内容】

(1) 個別相談会の開催

- ・ NPO活動の成果を見える化し、事業のマネジメントに活かす「社会的インパクト評価」の考え方を活かし、助成金申請を検討する団体を対象に、申請書の作成ならびに事業実施に関して相談対応した。
- ・ 全6回。尾張・三河地域の各3か所においてそれぞれ実施し、延べ30団体に実施した。
- ・ 相談会に併設した講座を3回実施し、延べ104団体119名が参加した。

回	内容／講師・相談対応	日時／参加者数／場所／運営協力
第1回	社会的インパクト評価の基礎 今田克司さん((一財)CSOネットワーク常務理事)	8/31(土)13:30～17:00／45名(40団体) 相談対応団体：3団体
第2回	休眠預金を活用したNPO等への助成金 三島知斗世さん・青木研輔さん (一般財団法人中部圏地域創造ファンド)	12/19(木)13:30～16:30／51名(46団体) 相談対応団体：10団体
第3回	評価結果や審査の視点から考える 渡真利紘一さん・藤倉哲平さん(独立行政法人福祉医療機構[WAM]NPOリソースセンターNPO支援課)	1/14(火)13:00～17:00／15名(11団体) 相談対応団体：6団体 知多市市民活動センター 協力：(特)地域福祉サポートちた
第4回	小規模助成申請相談会 田口裕晃さん(認特)名古屋NGOセンター)	9/29(日)13:00～17:00／9名(5団体) 相談対応団体：5団体 とよた市民活動センター
第5回	地域の助成金から全国枠助成金へステップアップ するために知っておきたいこと 山田泰久さん(特)CANPANセンター)	11/3(日祝)13:00～16:30／8名(7団体) 相談対応団体：4団体 刈谷市民ボランティア活動センター
第6回	小規模助成申請相談会 田口裕晃さん	11/23(土祝)14:00～17:00／3名(2団体) 相談対応団体：2団体 安城市民交流センター

※各回共通相談員：中尾さゆり、遠山涼子

(2) 助成募集情報の把握と公表

- ・ 相談会の開催1か月前後の助成金公募情報を収集し、個別相談会の開催案内の際に活用した。
- ・ 助成金募集における社会的インパクト評価の考え方との関連性について、調査を行った。

(3) 相談記録のとりまとめとフィードバックの実施

- ・ 相談者の相談内容とそれに対応した内容を記録としてまとめた。
- ・ 相談利用実団体25団体を対象に、相談利用後の助成金申請状況や評価の活用について確認するアンケート調査を実施し、結果を取りまとめた。

【総括・評価】

昨年度実施された「社会的インパクト評価」の基礎を基に、助成金申請へつなげる実践編として取り組んだ。結果的に新規の参加者が半数以上を占め、テーマへの関心は幅広いことが解った。成果として、支援を担当した評価者のネットワークが形成された点や、講師と共に相談対応を共有し振り返りができた点は経験の蓄積となった。助成金申請に関する相談は、評価を考えるきっかけとなり、入り口段階の支援に有効であることが確認できた。課題としては、それぞれの団体に「評価が生きる時」があり、適時に取り組めるよう、支援をする・される関係を超越して当事者同士の学びあいの場を作る必要がある。

事業名	実施時期	実施場所	事業規模（円）
社会課題解決力向上支援事業業務	8月～3月	名古屋市市民活動推進センター他	999,240
	委託団体	名古屋市（名古屋市市民活動推進センター）	

【目的・ねらい】

NPOなどが、自ら事業の成果等の評価を行う力をつけることで、組織・事業運営の改善能力や信用力を向上させ、NPOの経営基盤の強化を図り、社会課題解決力を向上することを目的に実施した。

【事業内容】

（1）講座実施（NPOの成果を見える化して元気にするセミナー）

評価（社会的インパクト評価等）やロジックモデルの策定方法などの基礎的な知識を学ぶ基礎編、自団体のロジックモデルを策定する実践的な内容のほか、ロジックモデル策定後のレビューやフィードバック等、ロジックモデルを団体の自己改善に活用する手法を学ぶ実践編を実施した。

講師：河合将生さん（NPO組織基盤強化コンサルタント、office musubime代表）

回/参加者/日時/会場	内容/講師
基礎講座 参加者：34名 11/14（木）13:00～17:00 あいちNPO交流プラザ	社会的インパクト評価とロジックモデルの基礎 社会的インパクト評価の基本・構成/社会的インパクト評価の活用事例/ロジックモデルの基礎/モデル事例を基にしたロジックモデル作成ワークショップ
実践講座 参加者：20名 12/13（金）13:00～17:00 名古屋市市民活動推進センター	団体のロジックモデルを作成 事業の目標・受益者を考える/ロジックモデル作成ワークショップ/（インプット、アクティビティ（活動）、アプトプット、アウトカム（成果）を考える）
実践講座 参加者：15名 2/18（火）13:00～17:00 名古屋市市民活動推進センター	ロジックモデルの活用の仕方 評価指標の設定/データの集め方/ロジックモデルの見直し/ロジックモデルを使った事業の改善

（2）コーディネーター派遣

評価の実施やロジックモデルの策定をする際に、団体内の合意形成等の補助を行うコーディネーターの派遣をおこなった（3団体、各3回派遣）。

（3）勉強会実施

評価に関する外部専門家を招聘し、評価の実施やロジックモデルの策定に取り組む者同士が、好事例や課題を情報交換し、相互に学べる場を設けた（2回実施）。

回/日時/会場	内容・ゲスト
第1回 12/4（水） 18：30～20：30 名古屋市市民活動推進センター	名古屋市男女平等参画推進センター（つながれっとNAGOYA）の指定管理者として8年間の活動の中で取り組んだ評価の実践について報告を受け、ゲストと参加者間での意見交換をおこなった。 ゲスト：渋谷典子さん（NPO法人参画プラネット 代表理事） 林やすこさん（同常任理事）
第2回 1/21（火） 18：30～20：30 名古屋市市民活動推進センター	NPOに評価を導入するにあたっての課題、評価を活動に活かすコツ、評価に取り組む前にやるべきことなどについて報告を受け、ゲストと参加者間での意見交換をおこなった。 ゲスト：小池達也さん（NPO支援者/日本評価学会認定評価士）

【総括・評価】

- セミナーは、NPOに対する豊富な評価支援の経験を持つ講師による実践的な指導により、社会的インパクト評価の考え方、手法を学び、参加者自らが評価をおこなえる力を身につけることができる内容となった。長時間に亘るワークショップにも関わらず、積極的に学ぶ参加者の姿からは、評価を組織や事業の改善につなげることへのNPO関係者の関心の高さがうかがえた。
- 評価に取り組むNPOの担当者や支援者が集まって事例や課題を情報交換し、評価専門家と意見交換おこなう場をつくることができた。実際にNPO等の評価に関わる専門家から、団体の活動に生きる評価の実践手法についてディスカッションを行いながら学ぶ場を創出した。

4 相談・助言事業

事業名	実施時期	実施場所	事業規模（円）
NPOアドバイザー事業	5月～3月	名古屋市市民活動推進センター	1,937,935
	委託団体	名古屋市（名古屋市市民活動推進センター）／ （特）ポラみみより情報局と共同事業体で受託	

【目的・ねらい】

NPO法人を設立したいと考えている市民やNPO法人からの法人設立や会計、組織運営等、各種相談に応じ、各種講座等を実施することで、課題の解決を図り、市民活動を促進するとともに、NPO法人の健全な運営を支援すること。

【事業内容】

NPO法人の設立・運営・会計・労務・税務等の個別相談を実施したほか、専門講座を10回開催し、のべ87名が参加した。また、日本会計士協会東海会及び名古屋税理士会より紹介を受けた会計専門家3名を認定・指定取得を目指すNPO法人に派遣し、認定・指定取得のための支援を行った。

個別相談	内容・参加者数等	アドバイザー
	計81件／118コマ 【うち計53件／84回を担当】	全11名 【うち下記8名を派遣】

【会計・税務】 足立勝彦氏、黒田朱里氏、鳥居翼氏、中尾さゆり氏、橋本俊也氏、堀尾博樹氏
【労務】 加古朗氏、【法務】 藤田哲氏

日程	講座タイトル	講師／参加者数
6/12 (水)	はじめてのNPO運営（ヒト・モノ・カネの活かし方）	織田元樹さん（(特)ポラみみより情報局代表理事） 【7名】
6/27 (木)	一緒に活動する仲間づくり そんなことまでポラさんに任せていいんですか！?	織田元樹さん（(特)ポラみみより情報局代表理事） 【6名】
7/11 (木)	NPO法人運営（NPO法・会計・税務・労務）	橋本俊也さん（税理士） 【11名】
7/19 (金)	ファンドレイジングってなに？NPOの活動資金づくりの考え方	水野真由美さん（(特)ポラみみより情報局アドバイザー） 【8名】
8/23 (金)	いまさら聞けないNPOの広報	織田元樹さん（(特)ポラみみより情報局代表理事） 【12名】
8/28 (木)	NPO法人が知っておきたい消費税のしくみ	鳥居翼さん（税理士） 【13名】
10/29 (火)	想いと“財産”を引き継ぐ NPO法人の“終活・承継”	中尾 さゆり 【8名】
11/15 (金)	NPO法人になったら納める税金の種類と手続き	堀尾博樹さん（税理士） 【11名】
1/25 (土)	NPO法人の会計報告チェックポイント	足立勝彦さん（税理士） 【11名】
3/18(水)	NPO法人の理事・監事の役割	黒田朱里さん（公認会計士） 【中止】


専門家派遣	NPO法人3団体に対し、会計専門家3名を4回ずつ団体へ派遣し、認定・指定の取得にむけた支援を行った。 《支援内容》事業・経理状況のヒアリング／会計資料・会計ソフトの確認／会計業務の流れ整理／事業費と管理費の区分整理／共通経費の按分割合の検討／認定申請書類の確認など。
-------	--

【総括・評価】

相談稼働率69%と目標90%を下回ったものの、利用者のアンケート結果から高い満足度が確認できた。自身で課題を特定した団体の利用や満足度は高い結果を得られているため、課題が深刻になる前の予防的な利用を掘り起こす必要がある。専門講座では実践で活かせるスキルを提供することができた。参加した人の満足度は85%と一定の評価を得られたものの、参加者間に情報量の差があり、少人数制の対話型とするなど参加者の理解を深める工夫が必要である。アドバイザー研究会では、アドバイザー・センタースタッフと相談内容を共有し、対応策を検討することができ、対応力の向上につながった。

事業名	実施時期	実施場所	事業規模（円）
大口町NPO団体事務支援	5月～3月	大口町町民活動センター	244,778
	委託団体	大口町（地域振興課）	
<p>【目的・ねらい】 大口町のNPO団体の透明性及びアカウンタビリティを確保するため、会計を中心とした事務・運営の適正化を支援すること</p> <p>【事業内容】 ※アドバイザー 中尾さゆり（VNS） 5団体に対し、決算、NPO法人会計基準に則した財務諸表の作成アドバイスを行った。また、2団体に対しては10月より消費税が複数税率になったことに伴う会計処理の見直し等を行った。</p> <p>【総括・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続的な支援により、支援対象NPO法人のNPO法人会計導入率は100%となっている。 ・ 消費税が複数税率になったことにより、会計処理に迷うことが増えた。年に4回の訪問のほか、電話による相談にも随時対応し、わからないことを即時解決できるよう、サポートを行うことができた。 ・ 特に町の協働委託を実施している団体については、町への会計報告と団体としての会計報告の作成の合理化、予算実績管理などを適切に行っていく必要がある。 ・ また活動が継続していることにより、メンバーの高齢化、会計担当者の交代などの変化が生じている。会計データのチェックをきっかけに状況を聞き取り、早め早めの対応を促す役割を担う必要がある。 			

4-3 相談・助言／受託契約事業（民間部門）

事業名	実施時期	実施場所	事業規模（円）															
東海ろうきん 「愛♥未来応援寄付金」	6月～3月	東海労働金庫本社他	1,225,414															
	委託団体	東海労働金庫																
<p>【目的・ねらい】 東海労金の理念「経済・福祉・環境及び文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現」に基づいた社会貢献商品に拠る寄付金を活用した団体支援。</p> <p>【事業内容】 愛知県内の団体で今年度は「子どもの健全育成」と「就労支援」を行う団体を対象に、6/10(月)～7/4(木)に募集を行った。22団体からの応募があり、書類選考・ヒアリング選考を経て、4団体への寄付が決定。支援期間中には、選考委員による現地視察及びヒアリングを行った。</p>																		
																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">活動名</th> <th style="text-align: left;">団体名</th> <th style="text-align: left;">寄付金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子ども・若者アドバイザリーチーム</td> <td>子どもフォーラム</td> <td>15万円</td> </tr> <tr> <td>子育て支援プラネット</td> <td>NPO法人健康推進プラネット</td> <td>15万円</td> </tr> <tr> <td>外国人親子のための防災絵本プロジェクト</td> <td>防災ママかきつばた</td> <td>15万円</td> </tr> <tr> <td>産後を一人でがんばらない</td> <td>みどり子育て応援団</td> <td>8万円</td> </tr> </tbody> </table>				活動名	団体名	寄付金額	子ども・若者アドバイザリーチーム	子どもフォーラム	15万円	子育て支援プラネット	NPO法人健康推進プラネット	15万円	外国人親子のための防災絵本プロジェクト	防災ママかきつばた	15万円	産後を一人でがんばらない	みどり子育て応援団	8万円
活動名	団体名	寄付金額																
子ども・若者アドバイザリーチーム	子どもフォーラム	15万円																
子育て支援プラネット	NPO法人健康推進プラネット	15万円																
外国人親子のための防災絵本プロジェクト	防災ママかきつばた	15万円																
産後を一人でがんばらない	みどり子育て応援団	8万円																
<p>【総括・評価】 今年度より方針を改め、各団体への「寄付額を少額に」して「寄付件数を増やす」事業設計にした。寄付先の各団体においては、今回の寄付金を活かし、事業の拡充や、団体のステップアップにも繋がる可能性も見られた。2/25(火)に予定をしていた「活動実績報告会」は新型コロナウイルス感染拡大防止措置のため、中止となった。</p>																		

5 人材交流・ネットワーク促進事業

- NPO間の交流・ネットワークをはじめ、NPOと地縁組織や行政や企業の間、もしくは農山村と都市部などの地域間など、様々な人材交流・ネットワーク形成を促進しながら共生協働を進める部門です。
- 「NPO交流・ネットワーク形成」は、従来からのネットワークへの継続的な参加や協力を続けています。新たなネットワーク促進として、(一財)中部圏地域創造ファンドとの連携や、(一社)愛知シビエ振興協議会への理事参加と連絡事務所提供、(一社)SDGsコミュニティへの連絡事務所提供などの協力支援を行っています。【テーマ④資源化しつなげる情報循環】
- 「あいちの山里産直コンソーシアム事業」は長期に継続し安定化する一方で、慢性化による誘客数の伸び悩みや、関係者の積極的な活動参画が課題となっています。【テーマ①市民公益活動の持続可能なマネジメント】
- 2019年2月に設立された(一社)愛知シビエ振興協議会は、当法人で取り組んできた愛知県のシビエ消費拡大事業の関係者ネットワークを活かして自立組織化して活動をスタートしました。(一財)中部圏地域創造ファンドは、モリコロ基金のネットワークを活かした地域型ファンド創設に支援してきた他、(一社)SDGsコミュニティも、当法人が長く携わったEPO中部の関係者による活動です。
- 新たな地域課題や社会課題をすくい上げて顕在化し、その課題解決へむけて関係者の組織化や仕組みづくりを支援していくのは、当法人の大きな役割であり、長年の取り組みの成果が自立した活動として展開していています。一方で、新たな地域課題への取り組みが昨年度はありませんでしたが、他部門での新しい取り組みとの連携や展開にも期待するところです。【テーマ②草の根の市民活動の活性化】

事業名	実施形態・備考		頁数
NPO交流・ネットワーク形成	自主事業	NPO21団体と連携	24
「あいちの山里産直コンソーシアム」事業	自主事業	農林水産物産地直売所と団体を設立し運営	25

5-1 交流・ネットワーク／自主事業

事業名	実施時期	実施場所	事業規模(円)
NPO交流・ネットワーク形成	通年	各団体事務所他	108,947
	実施形態	自主事業	
<p>【目的・ねらい】 全国及び愛知県内のNPOやまちづくり組織に参加し、NPOやまちづくりの発展に向けた意見交換や協働・連携・ネットワーク形成を図ること。</p> <p>【事業内容】 21の団体・協議会等に参画した。</p>			
	参画・連携・協働団体		担当者
(1)	日本NPO学会(会員)		三島知斗世
(2)	自治体学会(会員)		遠山涼子
(3)	コミュニティ政策学会(会員)		武長脩行
(4)	(特)全国移動サービスネットワーク(会員)		武長脩行
(5)	(特)日本NPOセンター(会員)		武長脩行
(6)	NPO法人会計基準協議会(幹事世話団体・会員)		中尾さゆり
(7)	愛知県交流居住センター(理事・会員)		大西光夫

	参画・連携・協働団体	担当者
(8)	愛知県青少年育成県民会議（会員）	武長脩行
(9)	愛知県内支援センター情報交流会（運営）	三島知斗世
(10)	愛知・川の会（会員）	武長脩行
(11)	（社福）愛知いのちの電話協会（評議員）	大西光夫
(12)	（特）移動ネットあいち（理事・会員）	大西光夫
(13)	（特）地域福祉サポートちた（理事・会員）	三島知斗世
(14)	（特）あいち市民NPOネットワークセンター（理事）	三島知斗世
(15)	（特）あいち福祉ネット（理事・会員）	遠山涼子
(16)	（特）なごや福祉ネット（理事・会員）	遠山涼子
(17)	（特）花と緑と健康のまちづくりフォーラム（理事・会員）	大西光夫
(18)	（特）こまき市民活動ネットワーク（評議員）	三島知斗世
(19)	（一財）中部圏地域創造ファンド（政策）	武長脩行
(20)	（一社）愛知ジビエ振興協議会（理事・会員・連絡事務所）	藤森幹人
(21)	（一社）SDGsコミュニティ（連絡事務所）	—

※(20)・(21)は、事務所機能の提供を行った。

事業名	実施時期	実施場所	事業規模（円）
あいちの山里 産直コンソーシアム事業	通年	三河中山間地域・県域	〇
	実施形態	自主事業	

【目的】

- ・三河中山間地域の産直施設 11 か所、都市部の産直施設 1 か所とVNSが協働してPR活動を展開することで都市部と農村部の交流人口を増やし、中山間地の活性化を図ること。
- ・産直施設として、行政区割りを越えて連携イベントや事業を協働することで、回遊性の高い都市住民のニーズに応え、質の高い交流人口の拡大をめざし、週末滞在、期間滞在などの新たな多様なスタイルの山間地居住を増やす呼び水とする。



7/14 どんぐりの里いなぶ(豊田市稲武)産直イベント

【事業内容】

- ・魅力的な食材・加工品の試食・販売・PR、自然・農業体験、デモンストレーションで都市住民に三河中山間地域への誘客を促すことを目的に、山間部（7/14(日)どんぐりの里いなぶ・豊田市）で山間地の魅力をPRする産地直売所フェアを実施、中山間地産直施設を巡るスタンプラリーを実施した。
- ・スタンプラリーは、各直売所でポスターを掲示し宣伝するとともに台紙やチラシを配布し広報した。また名古屋市北区にオープンしたソーネ大曽根で委託販売を始めた他、知多市の産直市に出店した。一定数のスタンプを集めた人に特産品を贈呈した。

【総括・評価】

- ・スタンプラリー参加者数は、取り組みの慢性化で参加者は伸び悩んでいる。誘客数の増加には構成団体のより積極的な取り組み、参加店の拡大、より魅力あるイベントやスタンプラリーが求められている。
- ・特に都市部のソーネ大曽根等を拠点に委託販売・広報イベントを開催し恒常的に三河山間部への誘客を促す取り組みが有効である。

6 市民団体等事務局支援事業

- 今年度の事務局支援事業では、これまで取り組んできたネットワーク形成期や立ち上がり期など事務局機能を独自に確保しにくい組織や時期を支える目的に加えて、会計業務や法人運営、受付業務や講座開催準備など、機能を特化して、他団体へ提供する取り組みに着手しました。
- 昨年度に引き続き、(特)あいち福祉ネットの事務局支援、東海自治体学会研究会（7月13日開催）の受付等支援業務を行いました。【テーマ②草の根の市民活動の活性化】

事業名	実施形態・備考		頁数
(特)あいち福祉ネット事務局支援事業	自主事業		26
福祉系NPO事務支援事業	委託事業(民間)	(特)知多地域成年後見サポートセンター	27
NPO法人会計力検定名古屋会場開催支援事業	委託事業(民間)	(一社)NPO会計力検定協会・NPO会計支援センター／一部自主事業	27

事業名	実施時期	実施場所	事業規模(円)
(特)あいち福祉ネット事務局支援事業	通年	役員団体事務所等	183,916
	実施形態	自主事業	

【目的・ねらい】

あいち福祉ネットは、愛知県下の福祉系NPO法人等15団体でネットワークを形成し、情報・問題意識の共有、政策提言、サービスの質と経営の向上、仲間づくり新しい社会ニーズへ対応を目指す組織である。



▲パネルトーク「自分らしく輝く」

【事業内容】

■法人運営

- ・理事会(3回)、通常総会(5/13)、連絡調整等。

■学習会に係る事業

- ・毎月1回10:00~12:00、主に名古屋市市政資料館にて開催。介護保険制度改正による活動への影響や展望について情報共有し、課題解決を検討した。

■福祉たすけあいフォーラム(1月19日)

「地域福祉の明日」社会福祉法人全国社会福祉協議会副会長 古都賢一氏

「次期2021年「介護保険改正」への動き～聞きたい介護保険のゆくえ～」厚生労働省栗原正明氏他。

パネルトーク「自分らしく輝く人々」では、「つながり」がキーワードに拳がり、経験や出会いを求め動くことの大切さを確認した。

参加者 57名(NPOに所属する介護支援専門員・代表・理事、地域包括支援センター等)

会場 名古屋市総合社会福祉会館

【総括・評価】

- ・課題を持ち寄り意見交換する場を継続して設けることができた。今年度より法人運営に特化した支援となり業務は軽減された。慢性的な人手不足にある他、安定的な収益確保など、ネットワーク組織の持続可能な運営に関しては課題が残る結果となった。

事業名	実施時期	実施場所	事業規模（円）
福祉系NPO事務局支援	6月～2月	団体事務所等	412,500
	委託団体	(特)知多地域成年後見サポートセンター	

【目的・ねらい】

(特)知多地域成年後見センター主催「権利擁護サポーター講座」の運営を通して、自分らしく最期まで暮らし、生きていくことができる地域づくりや環境づくりをサポートしていけるような人材を育成すること。

【事業内容】

■権利擁護サポーター講座

第1回	9/6(金)	地域でできること	第5回	10/4(金)	成年後見制度の概要と実態
第2回	9/13(金)	インタビューゲーム	第6回	10/11(金)	先輩の声
第3回	9/20(金)	障がい等理解	第7回	10/15(金)～ 11/15(金)	同行訪問
第4回	9/27(金)	日常生活自立支援事業の概要と実態	第8回	11/22(金)	ふりかえり

■実施報告書 100部作成

【総括・評価】

・講座の開催にかかる配布資料の作成、講師との連絡調整、当日の進行等を担当し、講座の運営をサポートした。報告書の作成においては、作業に遅れが生じ、目的とした本来活動に力を注げるような事務支援を実施することができなかった。連絡調整、進捗管理を徹底し改善につなげる。

事業名	実施時期	実施場所	事業規模（円）
NPO法人会計力検定 名古屋会場開催支援事業	通年	支援団体事務所等	79,900
	委託団体	委託団体(一社)NPO会計力検定協会 ・NPO会計支援センター／自主事業	

【目的・ねらい】

NPO会計力検定を愛知・名古屋で開催し、NPO法人の人材育成や法人の基盤整備・組織強化に資するとともに、NPOの信頼・信用を向上させる。

▶「NPO法人会計力検定テキスト」委託販売しました



【事業内容】

8/25(日)	「NPO法人会計力検定」名古屋開催 [実践]	(運営：松久奈央さん)
2/16(日)	「NPO法人会計力検定」名古屋開催 [入門・基本]	
1/13(月祝)	事前勉強会「NPO会計お悩み解決相談会」参加者3名	(協力：森建輔さん)
2/9(日)	事前勉強会「NPO法人会計力検定 受験対策直前勉強会」参加者11名	

【総括・評価】

会計力検定開催協力3年目となる今年、事前勉強会を初めて開催した。検定試験への申込はためらってしまう場合も、試験に関する情報を提供し、気軽に相談したり、日ごろの業務を確認したりする機会は求められていることが確認できた。受講者の確保、試験に適した会場の確保が難しく、赤字運営である。今後は交通の便の良い支援センターに開催の協力を打診したり、オンラインでの事前学習機会の提供を主催者と協働で確立したり、関心者層を上げるとともに、人材育成につなげたい。

●定款における「特定非営利活動に係る事業」の報告は以上の通りです。「その他の事業」は今年度は実施していません。

三 組織管理運営

1 組織運営について;

(1) 人のマネジメント

- 2019年度は、正規常勤3名、非常勤6名、計9名、その他、各事業に関わる専門家をはじめとする協力者・理事と共に事業をスタートしました。11月からは、事務局長を交代し、新規非常勤職員2名を採用して若い世代への新陳代謝を図り、正規常勤2名、非常勤職員は6名、計8名で取り組みました。
- 2019年度は、組織支援や経営等の専門家と事務局が力を合わせて対応する事業も行われました。チームを組む事業を行う中で、組織内外の人材が協働する機会となるほか、お互いの仕事の取り組み方を学びあうこともでき、人材育成や信頼関係の構築にもつながっています。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月上旬から在宅勤務を原則としました。

(2) 事業開発の検討

- 2018年度より、新しい事業開拓の検討を経て確立した4つの柱をもとに、今年度の活動方針を設定しました。実際に取り組むにあたり、理事・事務局で担当を設け、組織体制や収益性、社会情勢を鑑み議論しましたが、着手を見送った事業も複数ありました。なお、BCP作成促進に関しては、サポートした主催事業に協働する形で実施できました。
- 2020年1月に評議員・研究員等との交流会を開催し、中間支援組織として、VNSとして取り組むべきことについて意見交換を行いました。今後も気軽な意見交換の場を設け、何を目指して活動するか、ミッションの再考も含めて確認を重ねることにより、事業展開につなげる道筋を確認したいと思います。

(3) コミュニケーション

- 本法人の基本情報、設立時からの取組み紹介、事業報告、事業計画、決算、予算などを掲載した「アニュアルレポート2019」（450部）を発行すると共に、ホームページで団体や活動情報を掲載しました。
- Microsoftoffice365（非営利組織向け）を導入し、事業担当者間の円滑なコミュニケーションを図りました。主にMicrosoft Teamsを活用し、連絡調整、ファイル共有・共同編集、オンライン会議の開催等を実施しました。
- 新型コロナウイルスの影響により、人が集まる形からオンラインによる意見交換や意思決定への切り替えが必要になりましたが、昨年度よりITツールの活用に取り組んできたことから比較的スムーズに行うことができました。

(4) 協働の関係づくり

- コロナ禍においては、全国組織・NPO支援団体のプラットフォーム「新型コロナウイルス」NPO支援組織社会連帯（CIS）に賛同加入した他、地元関係機関との情報共有の場にも参加しています。
- 他中間支援組織が行う調査事業に協力し、また、2020年度の調査事業にコンソーシアムを組んで応募するなど、お互いにの強みを生かした事業推進も試みました。
- 県内においては支援センター情報交流会開催への協力、中間支援組織関係者が集まる小規模の学習会を開催し、課題意識を共有し、議論する場や共に取り組むきっかけづくりに寄与しました。

2 機関・会議運営について

(1) 総会 第18回通常総会

- 【実施日】 2019年6月16日（日） 13:30～15:00
【場所】 日本棋院中部会館6階（名古屋市東区）



総会記念フォーラム「NPOの承継にどう向き合うか？」

【出席者数】 正会員総数62名中、本人出席16名、委任状31名

【議 題】

- (1) 2018年度事業報告の承認の件<決議事項>
- (2) 2018年度決算報告の承認の件<決議事項>
- (3) 監査報告の件
- (4) 役員選任の件 <決議事項>
- (5) 定款変更について <決議事項>
- (6) 役員報酬について <決議事項>
- (7) 2019年度活動計画・予算の報告<報告事項>

(2) 理事会 2019年度は7回開催しました。開催会場は、本法人事務所です。

回数	日時	主な議事
第179回	5月20日(月) 18:30~20:45	▼2018年度事業報告・決算(案)、役員を選出の承認 ▼定款変更:第41条 ▼第18回総会、総会記念フォーラムの運営について検討
第180回	7月1日(月) 18:30~20:45	▼承継支援に関する事業検討 ▼新規事業の検討・承認
第181回	8月5日(月) 18:30~21:30	▼2019年度活動予算管理の確認 ▼新規事業の検討・確認 ▼情報発信体制の検討・承認
第182回	10月7日(月) 18:30~21:00	▼2019年度後半の組織体制について ▼2020年度以降の経営方針の確認
第183回	11月5日(月) 18:30~21:00	▼5月~9月末の予算実績管理 ▼新規事業開拓の検討
第184回	12月2日(月) 18:30~21:00	▼2020年度以降の事業見通しの検討 ▼中期目標の取り組み検討 ▼評議員・研究員等との意見交流会の検討
第185回	4月27日(月) 18:30~21:00	▼事業開発会議を踏まえての新規事業の検討 ▼2019年度活動計画・活動予算書(案)の承認

※3月9日(月)に予定した理事会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から「役員意見交換会」として開催しました。2020年度事業計画・予算見通しの検討、2020年度以降の組織体制について、評議員・研究員等との意見交換会を踏まえての検討について、意見交換しました。

(3) その他の会議等

- 1月26日(日)に評議員・研究員等と「新春交流会」を開催しました(24名参加)。ゲストに田村亨さん((特)花と緑と健康のまちづくりフォーラム理事・事務局長)、浜田ゆうさん((認特)レスキューストックヤード事務局長)より、企業とNPOの連携、平常時からの災害ネットワークについてそれぞれ話題提供をいただいた後、参加者とともに中間支援組織、VNSに期待される取り組みについて意見交換を行いました。
- 理事長・副理事長会議を月1回程度開催し、迅速な意思決定、理事会の効率的な運営を図りました。
- 毎週1回(原則月曜日)事務局スタッフミーティングを、11月以降は毎週1回(原則火曜日)事業進捗会議を、事務所において開催し、実務執行の円滑化を図りました。



▲新春 評議員・研究員等交流会の一コマ